

FMV

B5FY-9931-01 Z0

FMV シリーズ

オンラインマニュアル

カラー液晶ディスプレイ - 24.1 ワイド
(VL-242SSWL)

FUJITSU

はじめに

このたびは、弊社のカラー液晶ディスプレイ -24.1 ワイド (VL-242SSWL) (以降、本製品) をご購入いただき、誠にありがとうございます。このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2009 年 11 月

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・ 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・ 修理を依頼するときには、必ず保証書をご用意ください。
- ・ 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・ 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください。(詳しくは、保証書をご覧ください。)
- ・ 本製品の補修性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 5 年です。
- ・ 保証期間後に修理で機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

- ・ 本製品の LCD パネルは、有寿命部品です。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・ 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、1 日約 8 時間のご使用で約 5 年です。なお、この期間内はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・ 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・ 摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修性能部品単位での修理による交換となります。
- ・ 本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

<主な有寿命部品>

LCD パネル、アルミ電解コンデンサ

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本製品は国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

電源の瞬時低下について

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

静電気および低周波電磁界に関するガイドラインについて

製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定めた『表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン』に適合しています。

PC グリーンラベルについて



本製品は PC3R『PC グリーンラベル制度』の審査基準（2009 年度版）を満たしています。
詳細は、WEB サイト <http://www.pc3r.jp> をご覧ください。



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。






本製品は電気・電子機器の特定の化学物質＜鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質＞の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
本製品における特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
<http://www.fmworld.net/biz/fmv/jmoss/>

■ 警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。



 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

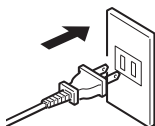
記号	意味
 重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
VL-242SSWL	本製品
アナログディスプレイケーブル	アナログケーブル
DVI ケーブル	デジタルケーブル

■ 電源プラグとコンセント形状の表記について



本製品に添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。このマニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ (125V15A) 用コンセント」をご利用ください。このマニュアルでは「コンセント」と表記しています。

■ 警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

■ 商標および著作権について

VESA、DDC は Video Electronics Standards Association の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2009

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱いってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

■ 液晶ディスプレイ本体

⚠ 警告



- ・本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、異常な現象がなくなるのを確認して、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.49）、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.49）、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- ・本製品を落したり、カバーなどを破損したりしたときは、本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.49）、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・近くで落雷のおそれがある場合は、本製品の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、雷がやむまで取り付けしないでください。

そのまま使用すると、落雷による感電・火災の原因となります。



- ・開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電・火災の原因となります。



- ・本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。

感電・火災の原因となります。

修理や点検などが必要な場合は、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.49）、またはご購入元にご連絡ください。



- ・梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。

口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。



- ・取り外したカバー、キャップ、ネジなどの部品は、小さなお子様の手の届かない所に置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



- ・本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。
お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。
過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。
また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



- ・振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下したりして、けがの原因となります。



- ・本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因となります。



- ・本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。
また、本製品の上に重いものを置かないでください。
故障・けがの原因となります。



- ・矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。
火災の原因となることがあります。



- ・添付もしくは指定された以外の電源コードを本製品に使ったり、本製品に添付の電源コードを他の製品に使ったりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障・火災の原因となります。

⚠ 注意



- ・本製品を布などで覆ったり、包んだりしないでください。設置するときは本製品と壁の間に 10cm 以上のすき間を空け、通気孔などの開口部をふさがないでください。また、通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にはこりを取ってください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- ・本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。



- ・本製品を直射日光が当たる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。



- ・本製品をお使いになるときは次のことに注意し、長時間使い続けるときは1時間に10～15分の休憩時間や作業時間中に小休止をとるようにしてください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。また、画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」など目の傷害の原因となることがあります。
 - ・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
 - ・なるべく画面を下向きに見るように調節し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
 - ・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
 - ・いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
 - ・手首や腕、ひじは机やいすのひじかけなどで支えるようにする。



- ・本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。
電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



- ・液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、医師に相談してください。
中毒を起こすおそれがあります。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。



- ・本製品を腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が出る場所で使用しないでください。
本製品が腐食する可能性があります。

■電源コード

⚠警告



- ・電源コード、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・電源プラグは、壁のコンセント（AC100V）またはコンピューター本体のアウトレットに直接かつ確実に接続してください。
また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



- ・電源コードの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
火災・感電の原因となります。



- ・電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。
修理は、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.49）、またはご購入元にご連絡ください。



- ・電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、電源コードの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。



- ・電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。



- ・電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。
火災・故障の原因となることがあります。

注意



- ・電源コードを束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。



- ・本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

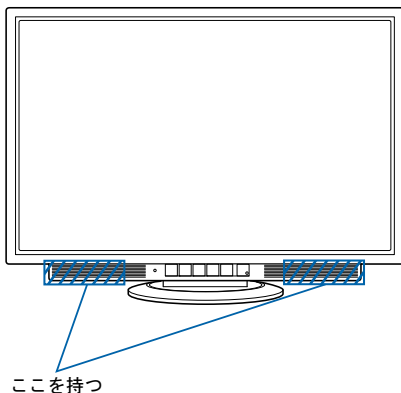
使用上のご注意

- ・液晶ディスプレイは次の特性をもっていますが、故障ではありません。
 - 長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
 - 表示する条件によっては、むらおよび微少な斑点が目立つことがあります。
 - 製造工程により、各製品で色あいが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
 - 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られておりますが、一部に常時点灯、消灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99%以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。
これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- ・液晶ディスプレイの取り扱いについて
 - 衝撃を与えたり、強い力で押ししたりしないでください。故障の原因となることがあります。特に、画面のお取り扱いについてはご注意ください。
 - ひっかいたり、先のとがったもので押ししたりしないでください。画面やカバーに傷が付く原因になります。
 - 画面を拭くときは、傷を付けないようご注意ください。

重要

▶ 画面を拭く場合、市販クリーナーの成分によっては画面の表面コーティングを傷めるおそれがあります。詳しくは「日常のお手入れ」（→ P.50）をご覧ください。

- ・スピーカー前面を強い力で押さないでください。スピーカーが破損する原因となることがあります。
- ・画面やカバーにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
- ・持ち運ぶときは画面やスタンド部を持たないで、下の図のように画面下部を両手で持つてください。また、液晶パネル面に手が触れないようご注意ください。



- ・ 本製品を設置するときは、次の点に注意してください。
 - 窓際へ設置する場合は、画面に直接太陽光が当たらないようにしてください。液晶パネルを傷める場合があります。
 - 液晶パネルの表面は外光の映り込みを低減する低反射処理を行っていますが、外光の映り込みが気になる場合は、ディスプレイの向き角度を調節してください。
 - テレビやラジオ、衛星放送チューナーなどのそばに設置すると、受信の障害となる場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
 - 本製品の近くで、携帯電話やトランシーバーなどを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
 - 本製品のスタンドの設置面には、台足を使用しております。台足の特性上、長時間同じ場所に設置していると、ご使用のテーブルや家具などに台足が吸着することがあります。
- ・ 本製品の各ケーブルを抜き差しするときは、誤動作することがありますので、必ず先にコンピューター本体の電源を切ってください。
- ・ 本製品の各ケーブルが引っ張られた状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。

警告

- ・ 本製品の内部には高電圧部分がありますので、分解しないでください。

注意

- ・ 映画などの動画をお楽しみいただくときは、周囲を十分に明るくし、なるべく離れてご覧ください。また、画面が明るすぎると感じたときは、「明るさ」を調整してください。

目次

はじめに	1
安全上のご注意	5
使用上のご注意	9
目次	11
1 製品を確認してください	13
2 本製品の特長	14
3 各部の名称と機能	16
画面の角度調節について	19
4 液晶ディスプレイの設置と接続	20
接続の前に	20
ベーススタンドを取り付ける	20
本製品を設置する	21
コンピューター本体と接続する	22
盗難防止	24
アームまたは壁掛けキットの取り付け方法	25
スタンドの取り付け方法	27
5 ディスプレイドライバー（INF ファイル）のインストール	28
初めて電源を入れるとき	28
最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする	28
6 富士通モニタユーティリティ	29
オート画質モード切り換え	29
モニタの基本設定	29
「富士通モニタユーティリティ」をインストールする	30
7 液晶ディスプレイのセットアップ	31
AUTO セットアップアクション機能	31
エコ機能	32
画質を選ぶ	34
細かい設定を行う	35
調整項目の内容	36
画質モードと調整項目の組み合わせ	40
入力切り換えについて	41

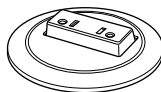
8 省電力機能	42
9 こんなときには	43
画面が表示されない	43
画面がおかしい	44
画面が調節できない	47
音が聞こえない／変な音が聞こえる	48
お問い合わせ先	49
10 日常のお手入れ	50
清掃する	50
11 リサイクル	51
12 仕様	52
本体仕様	52
標準表示仕様	54
コネクタ仕様	55
外形図	56

1 製品を確認してください

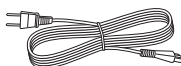
梱包箱から製品を取り出し、製品が揃っていることを確認してください。万一足りないものがあつた場合は、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。



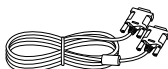
カラー液晶ディスプレイ本体



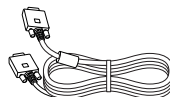
ベーススタンド



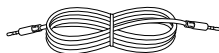
電源ケーブル



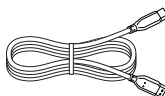
デジタルケーブル



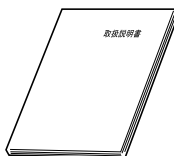
アナログケーブル



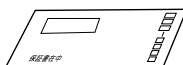
オーディオケーブル



USB ケーブル



取扱説明書



保証書

2 本製品の特長

1 大画面・高解像度・省スペース

- ・事務処理のみならず、CAD ユース、小人数のプレゼンテーションなどマルチに使える 24.1 型ワイドの大画面です。
- ・1920 × 1200 ドットの解像度で最適に表示されます。
- ・スタイリッシュな狭額縁デザインを採用し、また奥行きも少ないため、ワークスペースを広く使えます。

2 節電機能（エコモード）

周囲の明るさや表示する画像に応じて自動的に画面の明るさを調整したり、ワンタッチで明るさを最小にしたりすることができ、利用シーンに合わせて賢く節電できます。また必要な明るさに調節することで、目への負担も軽減できます。

3 スピーカー内蔵

ステレオスピーカーを内蔵し、立体感のあるサウンドでマルチメディア環境を実現します。

4 sRGB 対応

ディスプレイとプリンター／スキャナー／デジタルカメラなどの機器との色再現性を合わせる国際規格である、sRGB での表示が可能です。

POINT

- ▶ sRGB とは、ディスプレイ／スキャナー／デジタルカメラなど周辺機器どうしの色再現性や、プリンターで出力するときの色を合わせることを目的にした、色の表現範囲を規定するための国際規格です。

sRGB の設定については「細かい設定を行う」(→ P.35)をご覧ください。

5 便利なソフトウェア「富士通モニタユーティリティ」に対応

- ・オート画質モード切り換えが可能
アプリケーションごとに最適な画質モードを登録すると、登録したアプリケーションを起動したときに自動的に画質を切り換えることができます。
- ・モニタの基本設定が可能
ディスプレイの明るさやカラーなどの設定を、コンピューター本体から変更できます。

POINT

- ▶ 本機能を有効にするには、「富士通モニタユーティリティ」のインストールが必要です。詳しくは、「富士通モニタユーティリティ」(→ P.29)をご覧ください。

6 親切的な自動調整機能

初めて入力された解像度（モード）でも、本製品が検知して自動的に調整しますので、解像度（モード）を変更しても、すぐに最適な画面でご使用になれます。

7 多彩な設置方法

本製品は VESA の FDMI 規格に対応しています。FDMI 規格に準拠したアームまたは壁掛けキットに取り付けることができます。

POINT

- ▶「VESA FDMI」とは「VESA Flat Display Mounting Interface」の略で、液晶ディスプレイをアームまたは壁掛けキットに取り付けるインターフェースです。
インターフェースとしては 75mm × 75mm と 100mm × 100mm の 2 種類あります。
本製品は、100mm × 100mm に対応しています。

8 グリーン製品

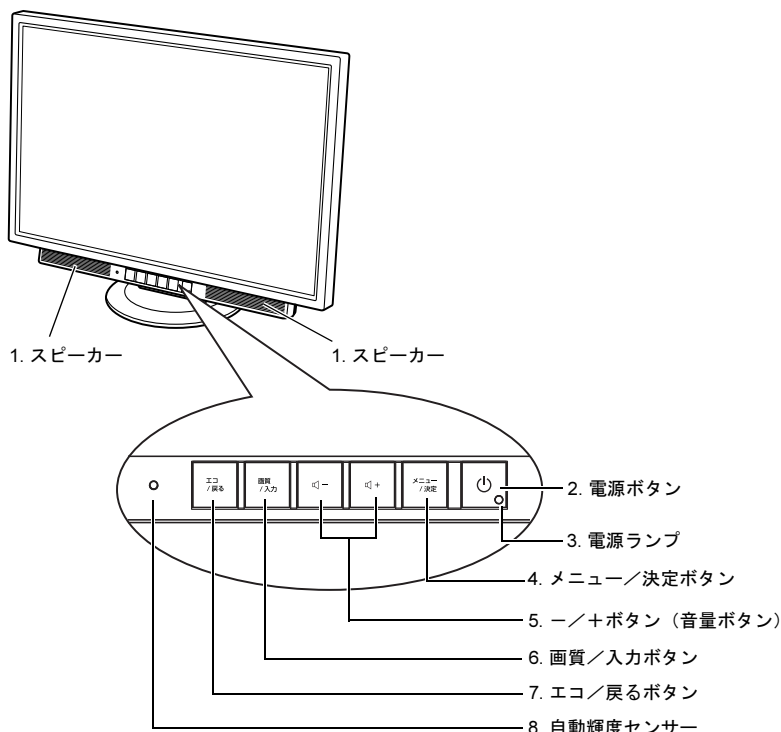
省エネルギー、リサイクルしやすい材料の採用など、環境にやさしい設計です。

このマークは富士通株式会社のグリーン製品の評価基準に適合した製品に表示しています。



3 各部の名称と機能

■ 前面



1 スピーカー

音声を出力します。

2 電源ボタン (🔌)

本製品の電源オン／オフを切り換えます。

3 電源ランプ

本製品の電力状態を表します。

「省電力機能」(→ P.42)

4 メニュー／決定ボタン

メニュー画面を表示、調整項目を決定、調整値を保存するときに使用します。

「細かい設定を行う」(→ P.35)」

5 ー／＋ボタン（音量ボタン）

メニュー画面で調整項目を選択したり、設定値を調整したりするときに使用します。
メニュー画面が表示されていないときは液晶ディスプレイのスピーカー音量を調整できます。

6 画質／入力ボタン

映像の内容に合わせた画質モードを選ぶときに使用します。

「画質を選ぶ」（→ P.34）

また、入力切り換えをするときに使用します。

「入力切り換えについて」（→ P.41）

7 エコ／戻るボタン

エコモードのオフ／オート／インテリジェントオート／オンを切り換えます。

「エコ機能」（→ P.32）

また、メニュー画面において調整中の値を取り消したり、前のメニューに戻ったりするときに使用します。

8 自動輝度センサー

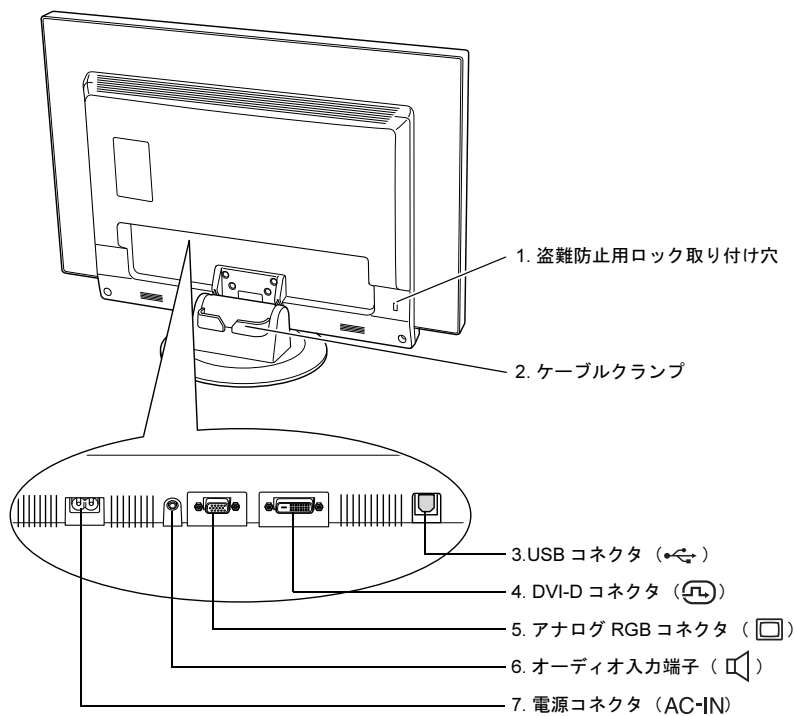
エコモードを「オート」または「インテリジェントオート」に設定した場合に、周囲の明るさを検知して最適な輝度に調整します。

重要

- ▶ エコモードを「オート」または「インテリジェントオート」に設定した場合、ものを置くなどして自動輝度センサーを覆い隠してしまうと、周囲の明るさを正しく検知できずに画面が必要以上に暗くなってしまいます。

自動輝度センサーの前にはものを置かないでください。

■ 背面



1 盗難防止用ロック取り付け穴

市販の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。

2 ケーブルクランプ

ディスプレイに接続したケーブルを通します。

3 USB コネクタ (●⇄)

コンピューター本体と添付の USB ケーブルで接続します。

4 DVI-D コネクタ (HDCP 対応) ()

コンピュータ本体と添付のデジタルケーブルで接続します。

POINT

- ▶ HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DVI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。

HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本製品は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを表示することができます。

5 アナログ RGB コネクタ ()

コンピュータ本体とアナログケーブルで接続します。

6 オーディオ入力端子 ()

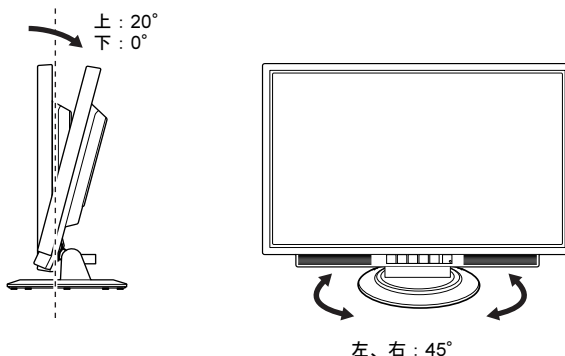
コンピュータ本体と添付のオーディオケーブルで接続します。

7 電源コネクタ (AC-IN)

添付の電源ケーブルを接続します。

画面の角度調節について

ディスプレイの上下・左右の角度を調節するときは、ディスプレイの両端を掴み、任意の角度に調節してください。



注意

- ・ ディスプレイの上下の角度を調節するときに、ディスプレイ下部とスタンドの間に指をはさむおそれがありますので、ご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ・ 上図に示す角度を超えて無理な力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。

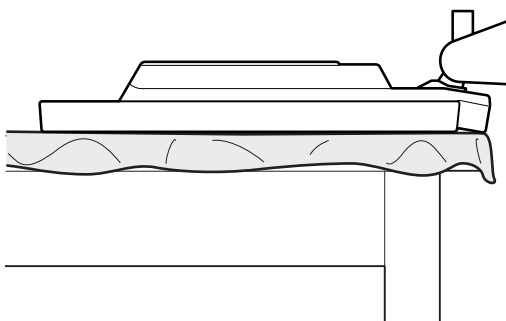
4 液晶ディスプレイの設置と接続

接続の前に

- すべての接続が終了するまで、本製品とコンピューター本体の電源は入れないでください。
- 本製品の電源ケーブルをコンセントに接続する場合、本製品の電源を入れた後、コンピューター本体の電源を入れてください。
- 本製品の仕様と、コンピューター本体の仕様を確認してから、接続してください。
「標準表示仕様」(→ P.54)

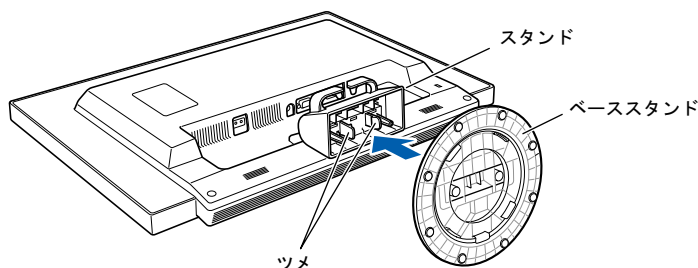
ベーススタンドを取り付ける

- 1 カバーや液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。



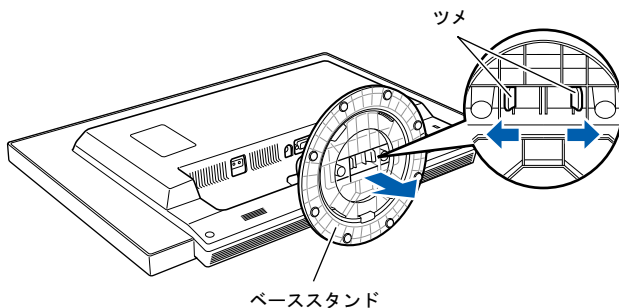
- 2 ベーススタンドの突起をスタンドに差し込むようにして、カチッと音がするまで押し込みます。

左右2つのツメが、確実にはめ込まれていることを確認してください。



POINT

- ▶ ベーススタンドを取り外す場合は、次の図のように、ベーススタンド裏面のツメを左右に広げながらベーススタンドを手前に引きます。



本製品を設置する

注意

- ・ ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、本製品が落ちて破損やけがのおそれがあります。
本製品を設置する場合は、安定した場所に設置してください。
- ・ テレビやラジオ、衛星放送チューナーなどのそばに設置すると、受信の障害となる場合がありますので、遠ざけてご使用ください。

POINT

- ▶ VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットを使用して設置する場合は、「アームまたは壁掛けキットの取り付け方法」(→ P.25) をご覧ください。

コンピューター本体と接続する

コンピューター本体の電源を入れる前に、コンピューター本体と本製品とが正しく接続されていることを確認してください。

1 ケーブルを接続します。

■ コンピューター本体にアウトレットがない場合

電源ケーブルをコンセントに接続します。

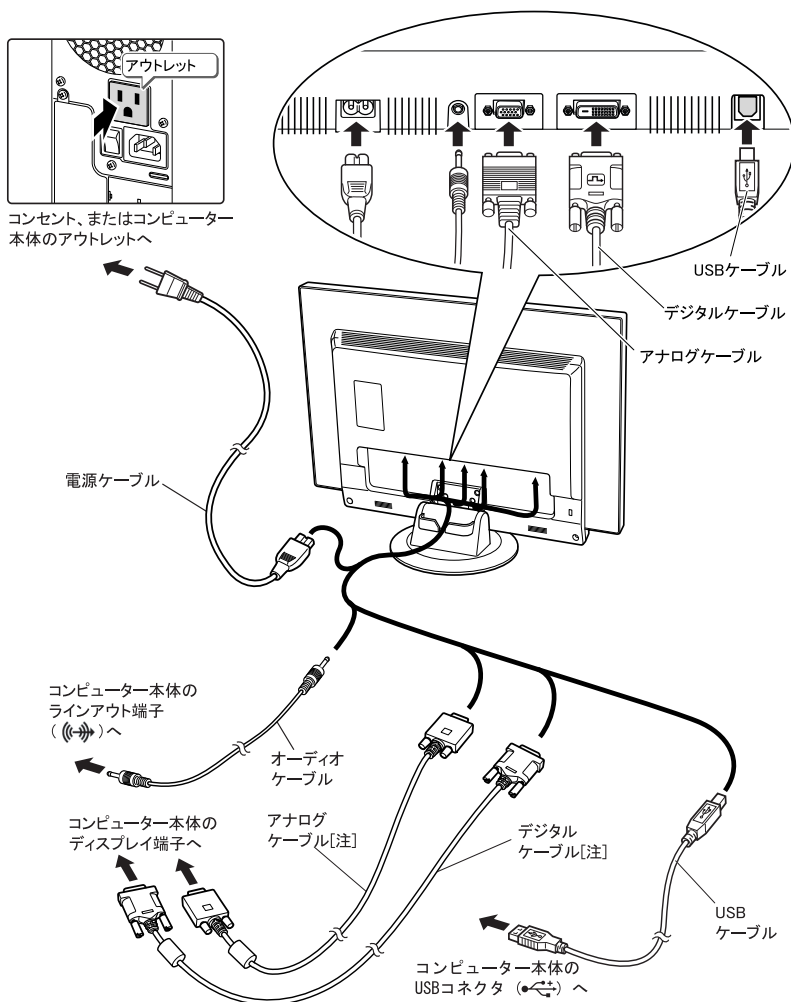
■ コンピューター本体にアウトレットがある場合

電源ケーブルをコンピューター本体のアウトレットに接続します。

本製品の電源がコンピューター本体の電源と連動して入ります。

初めて電源を入れるときは、コンピューター本体の電源を入れてから、本製品の電源を入れてください。

ケーブル接続後、本製品に一度電源を入れると、以後はコンピューター本体の起動にあわせて電源が入ります。コンピューター本体を起動するたびに本製品に電源を入れる必要はありません。



注: コアの付いていない方のケーブル端を本製品側に接続します。

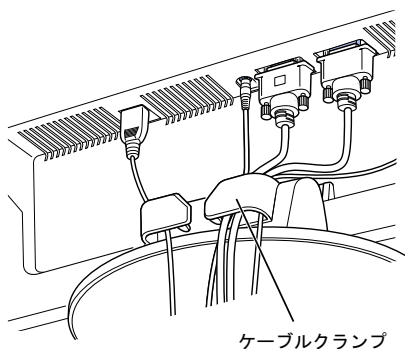
⚠ 注意

- ・ 本製品は、コンセントまたはコンピュータ本体のアウトレットの近くに設置し、異常が発生したときに、すぐに対応できるようにしてください。
- ・ 万一、異常が発生した場合は、本製品の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントまたはコンピュータ本体のアウトレットから抜いてください。

POINT

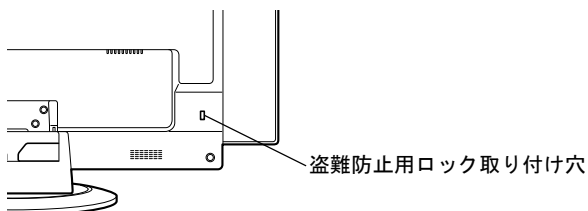
- ▶ USB ケーブルを接続すると、ディスプレイの設定などをコンピュータ本体から制御するソフトウェア「富士通モニタユーティリティ」(→ P.29) を使用することができます。

2 本製品背面のケーブルクランプ部にケーブルを通します。



盗難防止

本製品の背面には、盗難防止用ロック取り付け穴があります。
市販の盗難防止用ケーブルを接続できます。



アームまたは壁掛けキットの取り付け方法

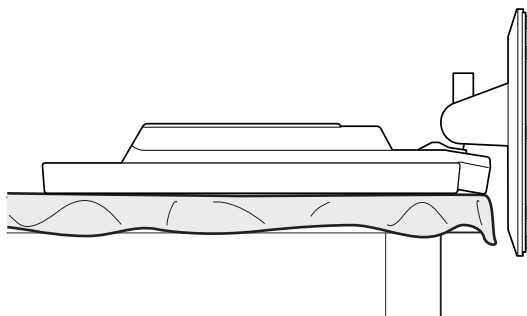
本製品はスタンドを取り外して、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットを取り付けることができます。
ドライバーをご用意ください。

※重要

- ▶ 本製品に取り付けるアームまたは壁掛けキットは、VESA FDMI 規格に適合したものをお選びください。
- ▶ 本製品に取り付けられるアームまたは壁掛けキットは、次の条件を満たしている必要があります。
 - ・ 取り付け部分のネジ穴の間隔が 100mm × 100mm である
 - ・ M4 × 10mm のネジで、取り付けができる
 - ・ 14kg の重さに耐えられる
- ▶ ネジは、VESA FDMI規格対応のアームまたは壁掛けキットに添付されているもの(M4×10mm)を必ず使用してください。
- ▶ ネジは最後までしっかりと締めてください。取り付け方が不十分な場合、外れて落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- ▶ アームまたは壁掛けキットを取り付けおよび設置するときは、アームまたは壁掛けキットのマニュアルもご覧ください。

1 すでにケーブルを接続している場合は、いったんすべてのケーブルを取り外します。

2 カバー／液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。

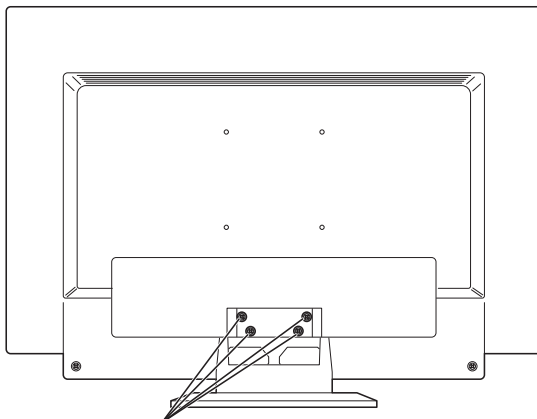


3 スタンドを取り外します。

ネジ（4ヶ所）を外した後、スタンドを取り外します。

⚠ 注意

- ・ スタンドは必ず手で持って作業してください。スタンドの落下により、破損、けがのおそれがあります。



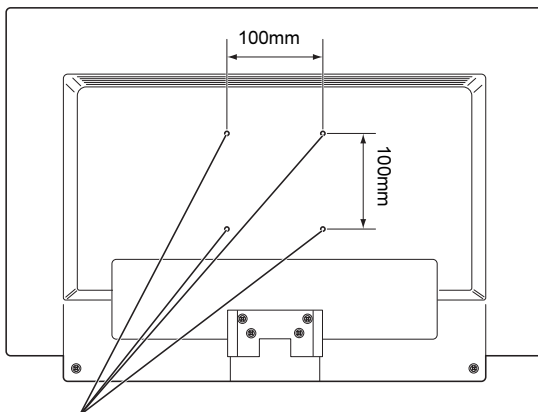
ドライバーでネジを外す（4ヶ所）

POINT

- ▶ 取り外したスタンドとネジは、スタンド使用時に必要ですので、大切に保管してください。

4 本製品をアームや壁掛けキットに取り付けます。

本製品のアーム、壁掛けキット固定用ネジ穴（4ヶ所）に、アームまたは壁掛けキットのネジ穴を合わせ、アームまたは壁掛けキットに添付されているネジ4本（M4 × 10mm）で取り付けてください。



アーム、壁掛けキット固定用ネジ穴

5 アームまたは壁掛けキットを設置した後、ケーブルを接続します。

「コンピューター本体と接続する」(→ P.22)

POINT

- ▶ アームまたは壁掛けキットを設置した後で、本製品背面のコネクタにケーブルを接続できない場合は、アームまたは壁掛けキットを設置する前にケーブルを接続してください。

スタンドの取り付け方法

アームまたは壁掛けキットを外してスタンドを使用する場合は、「アームまたは壁掛けキットの取り付け方法」(→ P.25) の逆の手順でスタンドを取り付けてください。

5 ディスプレイドライバー (INF ファイル) のインストール

初めて電源を入れるとき

コンピューター本体に接続後、最初の電源投入時に、本製品のドライバー (INF ファイル) のインストールを要求されることがあります。この場合、画面の指示に従って一度「プラグアンドプレイモニタ」として設定を完了させ、その後ドライバーのダウンロード／インストールを行ってください。

POINT

- ▶ お使いの OS の INF ファイルがない場合は、そのまま「プラグアンドプレイモニタ」としてご使用ください。

最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする

最新のドライバー (INF ファイル) は、富士通製品情報ページ (http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_support.html) よりダウンロードできます。「ドライバダウンロード」をクリックし、「ディスプレイ INF ファイル／タッチパネルドライバ」からお使いの型名を検索、ダウンロードし、インストールしてください。

6 富士通モニタユーティリティ

「富士通モニタユーティリティ」は、アプリケーションごとに画質モードを登録し、そのアプリケーションを起動すると自動的に登録された画質モードに切り換えたり、ディスプレイのボタンを使わずに、ユーティリティでディスプレイの明るさやカラー調整などを設定したりすることのできるソフトウェアです。「オート画質モード切り換え」と「モニタの基本設定」の2つの機能があります。

重要

- ▶ 「富士通モニタユーティリティ」を使用するには、本製品とコンピューター本体をUSBケーブルで接続する必要があります。

オート画質モード切り換え

「オート画質モード切り換え」とは、登録したアプリケーションを表示するときに、設定した画質モード（→ P.34）に自動で切り換える機能です。

例えば、文書を作成するアプリケーションに「文書」、写真を表示するアプリケーションに「写真」を設定すると、文書は「明るさを落とした目の負担を軽減した画質」、写真は「鮮明な色に見せる画質」に自動的に切り換わります。

POINT

- ▶ アプリケーションは10個まで登録でき、登録したアプリケーションごとに画質モードを設定できます。
- ▶ 詳しくは、「富士通モニタユーティリティ」のマニュアルをご覧ください。

モニタの基本設定

「モニタの基本設定」とは、ディスプレイのボタンを操作せずに、ユーティリティでディスプレイの設定を変更できる機能です。

コンピューター本体（マウス操作）でディスプレイの画質選択や明るさ、カラー調整などの細かい設定を感覚的に操作することができます。

またアナログ信号を入力している場合、自動調整機能により、コンピューターの機種など機器の違いによらずに意図したとおりの色を表示したり、正確な位置で表示したりできます。

詳しくは、「富士通モニタユーティリティ」のマニュアルをご覧ください。

「富士通モニタユーティリティ」をインストールする

本製品は「富士通モニタユーティリティ Ver.1.3」以降に対応しています。

コンピューターの機種によっては、「富士通モニタユーティリティ」がコンピューターに添付の「トラブル解決ナビ&ドライバーズディスク」に格納されています。

「富士通モニタユーティリティ」のバージョンが 1.3 未満の場合や、コンピューターに添付の「トラブル解決ナビ&ドライバーズディスク」に格納されていない場合は、最新版を富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/biz/display/>) よりダウンロードできます。液晶ディスプレイラインナップの「富士通モニタユーティリティダウンロード」をクリックして表示される「富士通モニタユーティリティ」のページからダウンロードしてください。インストールについては、「富士通モニタユーティリティ」の「readme.txt」をご覧ください。使い方については、「富士通モニタユーティリティ」に添付のマニュアルをご覧ください。

7 液晶ディスプレイのセットアップ

本製品では、次の方法で画質の設定が行えます。

- ・ディスプレイ本体のボタン操作による設定
- ・「富士通モニタユーティリティ」(→ P.29) による設定

ここでは、ディスプレイ本体のボタン操作による設定について説明します。

POINT

- ▶「富士通モニタユーティリティ」による設定については、「富士通モニタユーティリティ」のマニュアルをご覧ください。

AUTO セットアップアクション機能

本製品は、次のとき、最適な表示を得られるように画面位置、水平サイズなどを自動調整します。

- ・初めて液晶ディスプレイを本体に接続したとき
- ・今までに入力されたことのない解像度（モード）が設定されたとき

重要

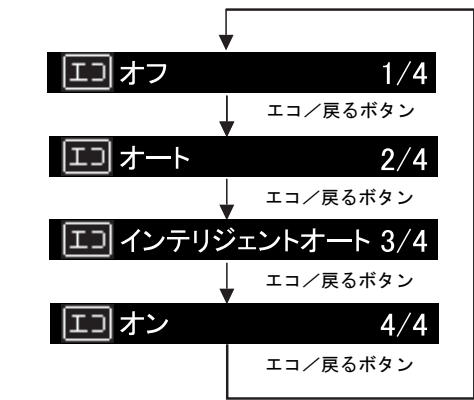
- ▶ AUTO セットアップアクションは、本製品の対応する解像度（モード）でのみ動作します（→ P.54）。
- ▶ 一度調整された解像度（モード）は、設定値が本製品に記憶されるので、記憶後は AUTO セットアップアクションは動作しません。
- ▶ AUTO セットアップアクションは、画面全体が暗い色に設定されている場合、動作しないことがあります。その場合は、コンピューター本体で画面の背景を白色に設定してから、メニュー画面で「自動調整」(→ P.38) を行ってください。
- ▶ デジタルケーブルでの接続の場合は、AUTO セットアップアクションおよび自動調整は動作しません。

エコ機能

本製品には、画面の明るさを抑え消費電力を削減する機能や、削減された消費電力を表示する機能が搭載されています。

■エコモード

エコモードとは、画面の明るさを抑え消費電力を削減する機能です。
エコモードには「オフ」「オート」「インテリジェントオート」「オン」の4種類があり、通常時の消費電力を最大で約35%削減することができます。
エコ／戻るボタンを1回押すと、現在のエコモードの状態が表示されます。続けて押すと、次のようにモードが切り換わります。



モード名	機能
オフ	メニュー画面の「明るさ」で調整した明るさそのまま画面を表示します。
オート	自動輝度センサーで周囲の明るさを検知し、周囲に合わせて画面の明るさを下げることで消費電力を削減します。
インテリジェントオート	自動輝度センサーによる調整に加え、表示する画像によって画面の明るさを下げるにより、更に消費電力を削減します。
オン	画面の明るさを最小にします。消費電力が最も少なくなります。

🔧重要

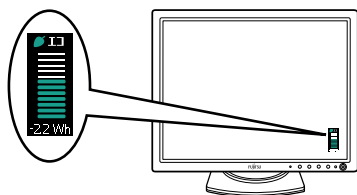
- ▶ご購入時はエコモードが「オフ」に設定されています。
- ▶エコモードが「オン」の状態では「明るさ」を調整すると、エコモードは、「オフ」に設定されます。
- ▶自動輝度センサーの前にはものを置かないでください。エコモードを「オート」「インテリジェントオート」に設定した場合、ものを置くなどして自動輝度センサー（→P.17）を覆い隠してしまうと、周囲の明るさを正しく検出できずに画面が必要以上に暗くなってしまう。

■エコゲージ

現在の電力削減量をリアルタイムに数字とバーで表示します。

電源投入時や節電状態からの復帰時、入力信号および電力削減量に変化したときに一定時間表示され、自動的に消えます。

エコゲージは、メニュー／決定ボタン（→ P.16）でメニューを表示し、「エコ設定」－「エコゲージ」（→ P.33）で表示、非表示を切り換えることができます。



POINT

- ▶ エコゲージで表示している数値およびバーは、エコモードやエコブートを使わずに明るさを最大にして使用している状態と比較した場合の値であり、電力削減量の目安を示すものです。

■エコブート

エコブートとは、OS の起動時など、入力信号が本製品の推奨解像度より小さい解像度（1024 × 768 など）の場合に、輝度を落として電力を削減する機能です。

エコブートはメニュー／決定ボタン（→ P.16）でメニューを表示し、「エコ設定」－「エコブート」（→ P.39）でオン、オフを切り換えることができます。

重要

- ▶ 解像度が 1600 × 1200 または 1280 × 1024 の場合、エコブートは動作しません。

■累積電力削減量表示

ご使用開始からの電力削減量を表示することができます。

累積電力削減量（kWh）とその累積電力削減量を CO2 換算した値（kg）の 2 種類を表示します。累積電力削減量とはエコモードやエコブートを使わずに、明るさを最大にして使用している状態と比較した場合の値であり、電力削減量の目安を示すものです。

メニュー／決定ボタン（→ P.16）でメニューを表示し、「エコ設定」－「累積電力削減量表示」（→ P.33）で表示できます。

「累積電力削減量表示」で表示している累積電力削減量と累積 CO2 削減量は、「エコ設定」－「累積電力削減量リセット」（→ P.39）でリセットできます。

POINT

- ▶ 「累積電力削減量」には、本製品が節電状態に入っている間（→ P.42）に削減された電力量は含まれておりません。

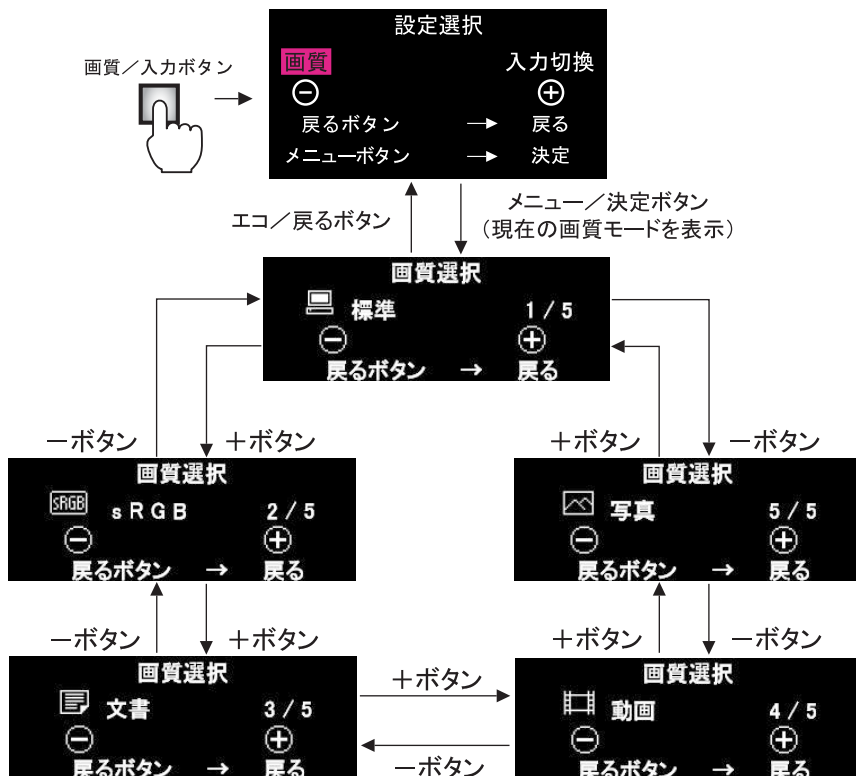
画質を選ぶ

画質／入力切換ボタンを押すと、サブメニューから映像の内容に合わせた画質モードを選ぶことができます。

重要

- ▶ 動画モードは、画面内の画像の変化（動画）を検出して全画面の階調表現を自動で調整します。そのため画像が変化していない部分も影響を受けるため、階調や色が変わって見えます。動画モードでは、動画を全画面表示して使用することをお勧めします。

画質／入力ボタンを押すと、「設定選択」画面が表示されます。「設定選択」画面で「画質」を選ぶと、「画質選択」画面が表示されます。続けて－／＋ボタンを押すと、次のように選択が変わります。



モード名	機能
標準	標準的な画質のモードです。
sRGB	コンピューターの機種など機器の違いによらず、意図したとおりの色を再現するための国際規格「sRGB」に設定します。 コントラスト、ガンマ、カラー設定、黒レベルは調整できません。
文書	メールや文書の作成などの背景に白が多い表示のときに最適なモードです。 明るさが下がり、文字が見やすくなります。
動画	DVD などの動画コンテンツの表示に最適なモードです。 シーンに合わせて見やすい階調表現に自動的に調整し、コントラスト感とダイナミック感を表現します。
写真	デジタルカメラ写真などの静止画表示に最適なモードです。 色を鮮明に表現します。

重要

- ▶ メニュー画面などが表示されている場合、画質／入力ボタンは無効です。メニュー画面などの表示が消えた後に、画質／入力ボタンを押してください。
メニュー画面については、「細かい設定を行う」(→ P.35) を参照してください。
- ▶ 細かい画質の調整は、画質選択で標準モードを選択後、メニューボタンでメニューを表示させて調整を行ってください。
画質の調整項目については、「調整項目の内容」(→ P.36) を参照してください。

細かい設定を行う

本製品はメニュー画面でさまざまな設定を行うことができます。設定には、メニュー／決定ボタン、－／＋ボタン、画質／入力ボタン、エコ／戻るボタン、を使用します。

■ メニュー画面の基本的な操作

□ ボタンの基本機能

メニュー／決定

- ・ メニュー画面の表示
- ・ 調整項目の決定
- ・ 設定値の保存
- ・ ボタンロックの解除 (3 秒以上長押し)

－／＋

- メニュー画面が表示されている場合
 - ・ 調整項目の選択
 - ・ 設定値の調整
- メニュー画面が表示されていない場合
 - ・ 音量の調整

画質／入力








- ・ 画質／入力切換メニュー表示











エコ／戻る

- メニュー画面が表示されている場合
 - ・ メニュー画面の消去
 - ・ 調整項目の取り消し
 - ・ 設定値の取り消し
- メニュー画面が表示されていない場合
 - ・ エコモード切換

例) コントラストを調整する場合

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	カラー設定	色に関する設定を行います。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	色温度	色温度を調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	ネイティブ	液晶パネルが持っている色温度で表示します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	5000K	5000K の色温度で画面を表示します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	6500K	6500K の色温度で画面を表示します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	7500K	7500K の色温度で画面を表示します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	8200K	8200K の色温度で画面を表示します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	9300K	9300K の色温度で画面を表示します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	10000K	10000K の色温度で画面を表示します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	ユーザー調整	画面全体の色のバランスを調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	赤レベル調整	赤色の明るさ調整をします。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	緑レベル調整	緑色の明るさ調整をします。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	青レベル調整	青色の明るさ調整をします。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	黒レベル調整	画面の黒い部分を調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	色あい	色あいを調整します。肌色などを任意の色あいにします。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	色のこさ	色の濃さを調整します。色を鮮やかにできます。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	6色調整	画面の部分的な色を調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	赤色のこさ	赤色の濃さを調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	黄色のこさ	黄色の濃さを調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	緑色のこさ	緑色の濃さを調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	シアンのこさ	シアンの濃さを調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	青色のこさ	青色の濃さを調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	マゼンタのこさ	マゼンタの濃さを調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	画面設定	表示画面の設定をします。	○	×
	水平位置調整	表示画面の水平位置を左右に調整します(アナログ信号入力時のみ)。	○	×
	垂直位置調整	表示画面の垂直位置を上下に調整します(アナログ信号入力時のみ)。	○	×
	水平サイズ調整	帯状(縦)のノイズが発生する場合に調整します(アナログ信号入力時のみ)。	○	×
	フォーカス調整	文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します(アナログ信号入力時のみ)。	○	×
	自動調整	アナログ信号入力時に画面位置、水平サイズ、フォーカスを自動で調整します。実施する場合は画面全体を白っぽい表示にしてから実行してください。 →AUTOセットアップアクション機能(→P.31) 参照	○	×
	基本設定	ディスプレイの基本的な設定をします。	○	○
	ワイド画面切換	画面の表示の拡大方法を切り換えます。1920×1200、1680×1050、1440×900、1280×800、720×400および標準表示仕様以外の解像度(モード)の画面を表示している場合、本メニューは選択できません。 ノーマル :画面の縦横比を保って拡大表示します。画面の内側に映像が表示され、画面の端は黒い帯になります。 ワイド :画面全体に拡大します。 リアル :入力信号の解像度のまま、拡大せず、画面中央に縦横比1:1で表示します。画面の端は黒い帯となります。	○	○
	DDC/CI ^[注1]	ディスプレイの明るさやコントラストの調整をコンピューター本体で行うことのできる国際規格DDC/CIの機能をオン/オフします。 画質モードが「標準モード」または「sRGBモード」でのみ調整できます。	○	○
	ミュート	オンにすると、一時的に本製品のスピーカー出力を停止します。ミュートがオンのときに音量ボタンで音量を調整すると、ミュートは解除されます。	○	○


アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	モニター設定	ディスプレイの設定を行います。	○	○
	リセット	<p>オール：次の項目を除いたすべての項目を、ご購入時の設定に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力切換 ・現在選択されていない入力の、「画面設定」(→ P.38) の全項目 ・現在選択されていない入力の、ワイド画面切換 (→ P.38) <p>カラー：色に関する設定のみを、ご購入時の設定に戻します。</p>	○	○
	ボタンロック	<p>エコ／戻るボタン、画質／入力ボタン、音量／－ボタン、音量／＋ボタン、メニュー／決定ボタン、電源ボタンを無効にすることができます。</p> <p>ボタンロック中にこれらのボタンを操作すると、画面上に「ボタンがロックされています」と表示されます。ロックを解除するには、メニュー／決定ボタンを 3 秒以上、メニュー画面が表示されるまで押し続けてください。</p>	○	○
	ロゴ	起動時のロゴ表示をするかしないかを設定します。	○	○
	エコ設定	エコ機能の設定をします。	○	○
	エコゲージ表示	エコゲージ (→ P.33) の表示、非表示を切り換えます。	○	○
	エコポート	エコポート機能 (→ P.33) のオン、オフを切り換えます。	○	○
	累積電力削減量表示	累積の電力削減量(kWh)と累積の電力削減量を CO2 換算した値が表示されます。	○	○
	累積電力削減量リセット	累積電力削減量および累積 CO2 削減量の値をクリアし、ゼロにします。	○	○
	情報表示	現在選択されている解像度と周波数、および選択された入力端子が表示されます。またアイコンで画質モード、エコゲージ表示、エコポート、DDC/CI、スピーカーの状態を確認することができます。	○	○

注 1：本製品は、VESA（Video Electronics Standards Association）の DDC/CI（Display Data Channel Command Interface）規格に対応しています。

注 2：リセット（オール／カラー）はどの画質モードで実行しても、すべての画質モードの設定値をご購入時の設定値に戻します。

■ 音量調整

スピーカーの音量はメニュー画面を表示せずに、－／＋ボタンで直接調整できます。

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	音量	本製品のスピーカーの音量を調整します。＋ボタンを押すと音量が大きくなり、－ボタンを押すと音量が小さくなります。 ミュート設定時に音量を調整すると、ミュートは解除され、スピーカーから音が出る状態になります。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

画質モードと調整項目の組み合わせ

○：選択可 ×：選択不可

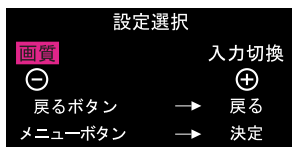
	調整項目	標準	sRGB	文書	動画	写真
映像設定	明るさ	○	○	○	○	○
	コントラスト	○	×	○	○	○
	ガンマ	○	×	○	×	○
カラー設定	色温度	○	×	○	○	○
	黒レベル	○	×	○	○	○
	色あい	×	×	×	○	○
	色のこさ	×	×	×	○	○
	6色調整	×	×	×	×	○
基本設定	DDC/CI	○	○	×	×	×
モニター設定	リセット	○	○	○	○	○

入力切り換えについて

本製品には2つの入力コネクタ(アナログ RGB コネクタ: 「アナログ入力」、および DVI-D コネクタ: 「デジタル入力」)があります。

初めてご使用になる場合は、入力を自動で検出して表示を出しますが、入力を切り換えた場合は、手動で切り換えてください。

1 画質／入力ボタンを押して、画質／入力切換メニューを表示します。



2 -/+ボタンで「入力切換」を選択し、メニュー／決定ボタンを押します。

現在選択されている入力が「アナログ入力」の場合は「DVI-D に切り換えますか?」、
「デジタル入力」の場合は「D-SUB に切り換えますか?」とメッセージが画面に表示
されます。

3 メニュー／決定ボタンを押します。

重要

▶ 切り換えた入力コネクタへの入力がないと、「節電に入ります」と画面に表示され、本製品は省電力状態になります。このときは、入力を選び直してください。

8 省電力機能

本製品はコンピューターの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画面の表示を中断し、電力の消費を抑えます。

省電力状態では、画面の表示が中断し、本製品の電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態から元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かします。

本製品は、コンピューター本体の制御に応じて、次の表に示すいずれかの状態に移行します。移行時には画面に「節電に入ります」というメッセージが表示されます。コンピューター本体の省電力機能については、コンピューター本体のマニュアルをご覧ください。

コンピューター本体の 状態	本製品の 電源供給元	本製品の動作		本製品の消費電力
		画面表示	電源ランプ	
通常状態	コンセントまたは コンピューター本 体のアウトレット	表示あり	緑	52W / 48W (最大時／通常時) 注1
映像出力オフ注2	コンセントまたは コンピューター本 体のアウトレット	表示なし	オレンジ	0.5W (省電力動作時)
スリープ／スタンバイ、 または休止状態	コンセント			
スリープ／スタンバイ、 または休止状態	コンピューター本 体のアウトレット	表示なし	消灯	0W
—	コンセントまたは コンピューター本 体のアウトレット	表示なし	消灯	0.5W (電源ボタン「オフ」時) 注3

注1: 通常時とは、画質モードを「標準」にして、スピーカーを使用しないで明るさを特に調整しない状態での使用を想定しています。

注2: コンピューター本体の省電力機能により画面の表示が中断されてから、スリープ／スタンバイ、または休止状態に移行する前の状態です。

注3: 「電源ボタン「オフ」時」の電力消費は、電源プラグをコンセントまたはコンピューター本体のアウトレットから抜くことにより0にすることができます。

9 こんなときには

本製品のご使用中に何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.49）にご相談ください。

画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
電源ランプが消灯している	電源ケーブルが正しく接続されていない。	電源ケーブルを本製品の電源コネクタとコンセント（またはコンピューター本体のアウトレット）に正しく奥まで確実に接続してください。	「コンピューター本体と接続する」（→ P.22）
	本製品の電源が入っていない。	コンピューターの電源が入っていることを確認し、本製品の電源を入れてください。	「各部の名称と機能」（→ P.16）
	コンピューターが省電力状態になっている（本製品の電源ケーブルをコンピューター本体のアウトレットに接続している場合）。	コンピューター本体の省電力機能の設定を確認してください。	コンピューター本体のマニュアル
電源ランプがオレンジ色に点灯しており、メニュー／決定ボタンを押すと「節電に入ります」のメッセージが表示される	コンピューターが省電力状態になっている	キーボードのどれかのキーを押すかマウスを動かしてください。省電力状態が解除されます。	「省電力機能」（→ P.42）
	アナログケーブル、またはデジタルケーブルが本製品またはコンピューター本体に、正しく接続されていない。	本製品とコンピューター本体にアナログケーブル、またはデジタルケーブルを正しく接続してください。	「コンピューター本体と接続する」（→ P.22）
電源ランプが点灯するが、画面が表示されない場合によっては次のメッセージも表示される「規定外の信号です」「入力信号がありません」	コンピューター本体の設定が標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	コンピューター本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」（→ P.54） コンピューター本体のマニュアル
	入力が切り換わっている。	入力切り換えを行ってください。	「入力切り換えについて」（→ P.41）
	アナログケーブル、またはデジタルケーブルが本製品またはコンピューター本体に、正しく接続されていない。	本製品とコンピューター本体にアナログケーブル、またはデジタルケーブルを正しく接続してください。	「コンピューター本体と接続する」（→ P.22）

画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が明るすぎる	明るさの設定値が大きすぎる。	メニュー画面より明るさを調整してください。	「調整項目の内容」(→ P.36)
画面が暗くなった	エコモードが「オート」「インテリジェントオート」または「オン」になっている。	エコボタンを押して、エコモードを「オフ」に設定してください。	「エコ機能」(→ P.32)
	自動輝度センサーが何かに覆われている。	自動輝度センサーを覆っているものを取り除いてください。	「各部の名称と機能」(→ P.16)
	明るさの設定値が小さすぎる。	メニュー画面より明るさを調整してください。	「調整項目の内容」(→ P.36)
	表示解像度が本製品の推奨解像度 (→ P.54) より小さい解像度 (1024 × 768 など) で使用されており、エコブートが動作している。	エコブートをオフにしてください。	「エコブート」(→ P.33)
	液晶パネル内部の蛍光管が、長期使用で暗くなっている。[注]	有償にて交換させていただきます。詳しくは「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」まで連絡してください。	「お問い合わせ先」(→ P.49)
推奨解像度より小さい解像度を設定しているも、エコブート機能が働かない	コンピューターによっては、推奨解像度より小さい解像度を設定した場合、推奨解像度に拡大して出力される場合があります。	メニュー画面の「情報表示」で、解像度を確認してください。推奨解像度になっている場合、エコブート機能はお使いになれません。	「エコブート」(→ P.33) 「調整項目の内容」(→ P.36) 「標準表示仕様」(→ P.54)
画面いっぱいに表示されない。	ワイド画面切替が「ノーマル」になっている。	ワイド画面切替を「ワイド」に設定してください。	「調整項目の内容」(→ P.36)
	画面位置の調整が適切でない (アナログ接続時のみ)。	水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「調整項目の内容」(→ P.36)
BIOS 画面が表示されない、または BIOS 画面の表示時間が短い	ログ表示が BIOS 画面と重なっている。	ログ表示を「OFF」に設定してください。	「ログ」(→ P.39)
色の階調が強調され、グラデーションがなめらかに表示されない。	エコモードが「インテリジェントオート」、または画質モードが「写真、動画モード」に設定されている。	モードの設定を別のモードに変更してご使用ください。	「画質を選ぶ」(→ P.34) 「エコ機能」(→ P.32)

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面の縦横比が崩れてしまう	ワイド画面切換が「ワイド」になっている。	ワイド画面切換を「ノーマル」に設定してください。	「調整項目の内容」(→ P.36)
	コンピューターの設定が標準表示仕様以外の解像度(モード)になっている。	コンピューター本体の設定を標準表示仕様の解像度(モード)に設定してください。	「標準表示仕様」(→ P.54) コンピューター本体のマニュアル
	コンピューターの設定が720×400の解像度(モード)になっている。	コンピューター本体の設定を720×400以外の解像度(モード)に変更してください。	コンピューター本体のマニュアル
ワイド画面切換が選択できない	コンピューターの設定が、ワイド画面切換できない解像度(モード)になっている。	コンピューター本体の設定を、標準表示仕様の解像度(モード)にしてください。ただし、次の解像度(モード)は除きます。 1920×1200、1680×1050、1440×900、1280×800、720×400	「標準表示仕様」(→ P.54) コンピューター本体のマニュアル
格子状の模様が見えないことがある(アナログ接続時のみ)	フォーカスが合っていない。	フォーカスを調整してください。	「調整項目の内容」(→ P.36)
帯状のしま模様(縦)が見えることがある(アナログ接続時のみ)	水平サイズの調整が適切でない。	水平サイズの調整をしてから、フォーカスの調整をしてください。	「調整項目の内容」(→ P.36)
画面がはみ出る(アナログ接続時のみ)	画面位置の調整が適切でない。	水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「調整項目の内容」(→ P.36)
	標準表示仕様以外の解像度(モード)になっている。	コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度(モード)に変更してください。	「標準表示仕様」(→ P.54) コンピューター本体のマニュアル
次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」	本製品に適切な信号が入力されていない。	コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度(モード)に変更してください。	「標準表示仕様」(→ P.54) コンピューター本体のマニュアル
文字の太さが場所によって異なる 画面の内容が大きくぼけて表示される	1920×1200よりも低い解像度(モード)になっている。	デジタル処理で擬似的に拡大表示しているので文字の太さが異なる場合があります。最適な画面にするには「画面設定」で解像度(モード)を1920×1200に設定してください。	コンピューター本体のマニュアル
	フォーカス、水平サイズの調整が適切でない(アナログ接続時)。	水平サイズの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。	「調整項目の内容」(→ P.36)
動画再生や画面の切り換え時に画面階調が変わる	画質モードが「動画モード」に設定されている。	他の画質モードに設定するか、動画を全画面でご覧ください。	「画質を選ぶ」(→ P.34)

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
電源投入直後やコンピュータの起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある	コンピュータからの信号が連続的に切り換わるために起こる。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—
点灯したままの点や黒い点が表示される	液晶パネルの特性で、故障ではありません。	見えにくい壁紙に設定することをお勧めします。	コンピュータ本体のマニュアル
画面を切り換えても前の像が薄く残っている	長時間同じ静止画像を表示すると、この現象が起こることがあります。液晶パネルの特性で、故障ではありません。	コンピュータの電源を切るか、変化する画像を表示していれば、像は 1 日程度で自然に消えます。スクリーンセーバーを設定することをお勧めします。	—
表示画面にむらがある（もやもやしている）	液晶パネルの表面を押した。	本製品の電源を切り、その後電源を入れてください。	「各部の名称と機能」(→ P.16)
画面がちらつく	一部の階調、表示パターンによってちらつきが発生します。	画質モードを変更して、ちらつきの少ない画質モードを選択してください。	「画質を選ぶ」(→ P.34)
	エコモードが「インテリジェントオート」に設定されている。	エコモードを別のモードに変更してご使用ください。	「エコ機能」(→ P.32)
コンピュータに本製品を 2 台同時に接続し、ディスプレイの表示を切り換えて使用している場合に、画面の明るさや色合いが突然変わる	USB 接続されているディスプレイ側で「富士通モニターユーティリティ」が有効になっている。	USB 接続している側のディスプレイに表示を切り換え、「富士通モニターユーティリティ」を終了してください。	コンピュータ本体のマニュアル 「富士通モニターユーティリティ」のマニュアル

注：液晶パネルは蛍光管を使用しており、長期間使用していると明るさが低下します。また、若干黄色くなる場合があります。

画面が調節できない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面上に「ボタンがロックされています」と表示される	ボタンロックが有効になっている。	メニュー／決定ボタンを 3 秒以上（メニュー画面が表示されるまで）押し続け、ボタンロックを解除してください。	「ボタンロック」 (→ P.39)
メニュー画面の自動調整より調整ができず、次のメッセージが表示される「失敗しました。マニュアルをgörんください」	画面全体が極端に暗い色に設定された状態で自動調整が行われた。	表示画面全体をできるだけ白い画面にして、もう一度自動調整を行ってください。	「AUTO セット アップアクション 機能」(→ P.31) 「調整項目の内容」 (→ P.36)
メニュー画面の自動調整より調整ができず、次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	メニュー画面の情報表示で、現在表示されている解像度（モード）を確認し、コンピューター本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「調整項目の内容」 (→ P.36) 「標準表示仕様」 (→ P.54) コンピューター本体のマニュアル
メニュー画面の自動調整が選択できない	デジタル入力でコンピューターと接続している。	デジタル入力でコンピューターと接続されている場合は、調整が不要なため自動調整はできません。	「調整項目の内容」 (→ P.36)
画面上に「その操作は無効です」と表示される	「富士通モニターティリティ」の設定ウィンドウが表示されている。	「富士通モニターティリティ」の設定ウィンドウを閉じてください。	「富士通モニターティリティ」 のマニュアル

音が聞こえない／変な音が聞こえる

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない	ミュートがオンになっている。	メニュー画面より、ミュートをオフにしてください。	「調整項目の内容」(→ P.36)
	音量が小さすぎる。	メニュー画面が表示されていない状態で、－／＋ボタンで音量を調整してください。	「各部の名称と機能」(→ P.16)
	画面の音量つまみが最小になっている。	適切な音量に調整してください。	コンピューター本体のマニュアル
	コンピューター本体の音量設定がミュートになっている	画面右下の通知領域の「音量アイコン」をクリックして音量つまみを表示し、ミュートの設定を解除してください。	コンピューター本体のマニュアル
	本製品が省電力モードになっている。	省電力時には音声出力を止める仕様となっております。	「省電力機能」(→ P.42)
	オーディオケーブルが正しく接続されていない。	オーディオケーブルが本製品とコンピューター本体の適切な場所に接続され、しっかりと奥まで差し込まれていることを確認してください。	「コンピューター本体と接続する」(→ P.22)
スピーカーからブツブツという雑音が聞こえる	本製品の近くで携帯電話、トランシーバーなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、トランシーバーなどを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	—
電源投入時などに「ブチッ」とノイズ音がする	オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—

お問い合わせ先

次のお問い合わせ先へご相談ください。

こんなときには	こちらへ
故障かなと思われたとき	<法人のお客様> 富士通ハードウェア修理相談センター 通話料無料 0120-422-297 受付時間 9:00～17:00（土曜、日曜、祝日および年末年始を除く）
	<個人のお客様> 故障や修理に関する受付窓口 通話料無料 0120-926-220 受付時間 24時間・365日対応
技術的なご質問、ご相談	富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口 通話料無料 0120-950-222 受付時間 9:00～17:00（土曜、日曜、祝日を除く）

- ・おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- ・各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。
お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- ・システムメンテナンスのため、お問い合わせ時間であっても受け付けを休止させていた
だく場合があります。

10 日常のお手入れ

清掃する

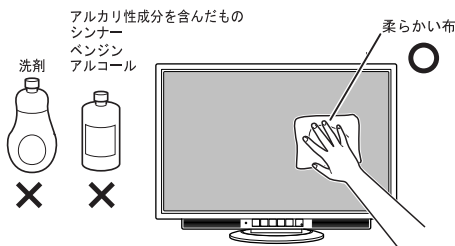
お手入れの前に本製品の電源を切り、本製品の各ケーブルをコンセントまたはコンピューター本体から抜いてください。

重要

- ▶ 化学ぞうきんや市販クリーナーは、次の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、使用しないでください。
 - ・ アルカリ性成分を含んだもの
 - ・ 界面活性剤を含んだもの
 - ・ アルコール成分を含んだもの
 - ・ シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
 - ・ 研磨材を含んだもの
- ▶ 本製品を清掃するときには、傷が付くのを防ぐため次の点にご注意ください。
 - ・ 柔らかい布をご使用ください。
 - ・ 力を入れすぎないようにしてください。
- ▶ 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

□ 画面

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。



□ カバー

水または中性洗剤を含ませ、固く絞った布で拭いてください。中性洗剤を使用した場合は、水に浸して固く絞った布で、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取るときは、本製品に水が入らないように充分注意してください。



11 リサイクル

■ 本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

- ・ 液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。
- ・ 法人、企業のお客様へ
本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>) をご覧ください。
- ・ 個人のお客様へ
本製品を廃棄する場合は、お申し込みホームページ (<http://azby.fmworld.net/recycle/>) をご覧ください。

本体仕様

項目		仕様	
接続 PC 本体		FMV シリーズ、AT 互換機	
入出力 I/F (コネクタ)	アナログ RGB コネクタ	映像信号：アナログ（セパレート同期信号 /TTL） 0.7V _{p-p} （正極性）、75Ω インピーダンス	
	DVI-D コネクタ	映像信号：デジタル（TMDS/HDCP 対応）	
	オーディオ入力端子	音声信号：アナログ	
	DDC	DDC/CI(VESA)	
	USB	USB1.1	
表示部	画面サイズ	24.1 型（対角 61.1cm）	
	表示寸法	518.4mm（H）× 324.0mm（V）	
	液晶パネル	TFT カラー液晶	
	解像度	1920 × 1200 ドット	
	画素ピッチ	0.270mm × 0.270mm	
	表示色	1677 万色	
	輝度	300cd/m ²	
	コントラスト比	1000:1	
	応答速度	5ms	
	視野角	上下 160°、左右 160°	
機能	表示モード	VGA、SVGA、XGA、SXGA、UXGA、WUXGA、 720 × 400、1280 × 800、1440 × 900、1680 × 1050	
	プラグ&プレイ	DDC/CI(VESA) ^{注 1}	
	チルト	下 0 ～ 上 20°	
	スイーベル	左右各 45°	
	壁掛け	100mm × 100mm（VESA 規格対応）	
電源	入力	AC100V 50/60Hz（入力波形は正弦波のみサポート）	
	消費電力	最大時 ^{注 2}	52W
		通常時 ^{注 3}	48W
		エコモード「オン」時 ^{注 3}	31W
		省電力時	0.5W
		電源ボタン「オフ」時 ^{注 4}	0.5W

項目		仕様
音声部	最大出力	1W/ch
	スピーカー	ステレオ
	出力音圧レベル（ユニット）	79.5dB/W（1m）
	再生周波数帯域（ユニット）	480Hz～20kHz
外形寸法		559mm（W）×216mm（D）×423mm（H）
質量		約 5.8kg（本体） 約 5.3kg（表示部）
使用環境	温度	5～35℃
	湿度	10～90%（RH）（結露しないこと）

注 1：本製品は、VESA（Video Electronics Standards Association）の DDC/CI（Display Data Channel Command Interface）規格に対応しています。

注 2：画質モードを「標準」にして、スピーカーを使用している場合を想定しています。

注 3：画質モードを「標準」にして、スピーカーを使用せず、明るさを特に調節しない状態での使用を想定しています。

注 4：電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントまたはコンピューター本体のアウトレットから抜くことにより 0 にすることができます。

標準表示仕様

○：表示可能 ◎：推奨解像度（モード）

No	解像度（モード）	水平周波数	垂直周波数	表示可能解像度（モード）	
				アナログ	デジタル
1	720 × 400	31.5kHz	70Hz	○	○
2	640 × 480	31.5kHz	60Hz	○	○
3	640 × 480	37.9kHz	72Hz	○	—
4	640 × 480	37.5kHz	75Hz	○	—
5	800 × 600	37.9kHz	60Hz	○	○
6	800 × 600	48.1kHz	72Hz	○	—
7	800 × 600	46.9kHz	75Hz	○	—
8	1024 × 768	48.4kHz	60Hz	○	○
9	1024 × 768	56.5kHz	70Hz	○	—
10	1024 × 768	60.0kHz	75Hz	○	—
11	1280 × 800	49.3kHz	60Hz	○	○
12	1280 × 800	49.7kHz	60Hz	○	○
13	1280 × 1024	64.0kHz	60Hz	○	○
14	1280 × 1024	80.0kHz	75Hz	○	—
15	1440 × 900	55.5kHz	60Hz	○	○
16	1440 × 900	55.9kHz	60Hz	○	○
17	1600 × 1200	75.0kHz	60Hz	○	○
18	1680 × 1050	64.7kHz	60Hz	○	○
19	1680 × 1050	65.3kHz	60Hz	○	○
20	1920 × 1200	74.0kHz	60Hz	◎	◎

重要

- ▶ 接続するコンピューターの種類により、表示位置などが多少ずれることがあります。その場合は、メニュー画面より自動調整を行ってください。自動調整で調整しきれない場合は、メニュー画面から手動で調整してください。コンピューター側での微調整は行わないでください。
- ▶ 上表以外の解像度（モード）にコンピューターを設定すると、正常に表示されなくなる場合があります。
- ▶ 1920 × 1200 以外の解像度（モード）では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったり、縦横比が異なって画像などにゆがみが発生することがあります。これは、擬似的に拡大表示（全画面表示）しているためであり、故障ではありません。
- ▶ 上表の解像度（モード）であっても、スキャンコンバーターで表示された NTSC 信号については表示品位を保証するものではありません。

コネクタ仕様

■ディスプレイコネクタ

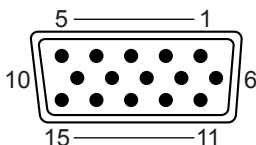
□ アナログ（ミニ D-Sub15 ピン・コネクタ）

端子配列表

No.	信号	No.	信号	No.	信号
(1)	R（映像）	(6)	GND	(11)	NC 注
(2)	G（映像）	(7)	GND	(12)	DDC DATA
(3)	B（映像）	(8)	GND	(13)	水平同期
(4)	NC 注	(9)	NC 注	(14)	垂直同期
(5)	GND	(10)	GND	(15)	DDC CLOCK

注：NC：未接続

端子配列図



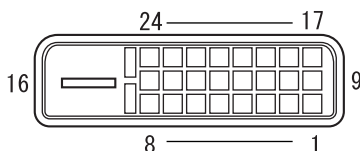
□ デジタル（DVI-D コネクタ）

端子配列表

No.	信号	No.	信号	No.	信号
(1)	TX2-	(9)	TX1-	(17)	TX0-
(2)	TX2+	(10)	TX1+	(18)	TX0+
(3)	TX2 Shield	(11)	TX1 Shield	(19)	TX0 Shield
(4)	NC 注	(12)	NC 注	(20)	NC 注
(5)	NC 注	(13)	NC 注	(21)	NC 注
(6)	DDC/SCL	(14)	DDC +5V	(22)	TXC Shield
(7)	DDC/SDA	(15)	DDC GND	(23)	TXC+
(8)	A-VS	(16)	HPD	(24)	TXC-

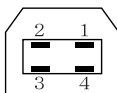
注 NC：未接続

端子配列図



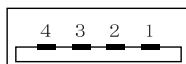
■ USB コネクタ

装置側（シリーズB）



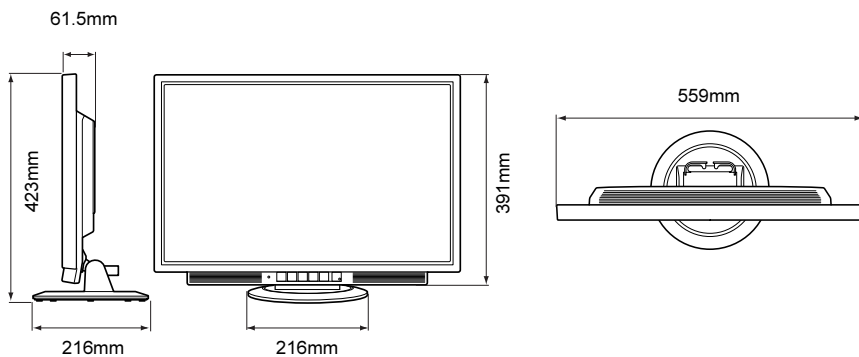
1 : Vcc
2 : D-
3 : D+
4 : GND

パソコン側（シリーズA）



1 : Vcc
2 : D-
3 : D+
4 : GND

外形図



FMV シリーズ
カラー液晶ディスプレイ -24.1 ワイド (VL-242SSWL)
オンラインマニュアル

B5FY-9931-01 Z0-00

発行日 2009 年 11 月
発行責任 富士通株式会社

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。